

2023 年 6 月のパナマの内政及び外交につき、以下のとおり報告する。

1 内政

(1) 2024 年選挙

ア PRD

10 日、党内大統領候補を決める予備選挙でカリソ副大統領が 19 万 8 千 775 票 (53.7%) を獲得。16 日、PRD は同副大統領を大統領候補として正式発表。クリスピーアーノ・アダメス国会議長は 10 万 7 千 339 票 (28.2%)、ペドロ・ミゲル・ゴンサレス議員 (トリホス元大統領派) は 3 万 4 千 149 票 (8.7%)、ほか 5 候補は得票数 1 万以下。PRD 党員の投票率は 59.2%。

カリソ副大統領はロビンソン党首、バジャダレス元大統領等の PRD 党内重役らの支持を獲得。他方で投票総数 44 万 2 千 101 票のうち、4 万 8 千 3 票は白票、2 万 3 千 165 票は無効票。専門家は一部の党員による党に対する不満の表明の可能性があると指摘。

現国会で議席を有する 35 名の議員の内、24 議員が再出馬を志望するも、予備選挙で出馬の権利を得ているのは 18 議員のみ、10 議席は政党連合を結成した際の相手の政党側の議席確保のためとして留保。他方で現党幹部用に同議席が優遇される可能性も指摘。

イ CD

2 日、CD 党幹部会は、リカルド・マルティネリ RM 党首に対する支持を表明したことを踏まえ、アブレゴ副党首の党からの除名を決定したが、同副党首は再審を要求。9 日、アブレゴ副党首をはじめとする 15 名の CD 党議員 (現在国会を占める CD 党議員は全部で 18 名) は改めてマルティネリ元大統領率いる RM 党への支持を表明。

ウ RM 党

4 日、マルティネリ元大統領は党内選挙大統領候補選挙で当選。23 万 4700 名の党員のうち 6 万 311 名 (26%) のみが投票、うち 5 万 8,862 名が同元大統領に投票。当選時、マルティネリ元大統領は、PP 党、ALIANZA 党及び MOLIRENA 党とそれぞれ選挙協力の可能性に言及。

エ PAIS 党

アルバレス PAIS 党党首は、ブランドン・パナメニスタ党及びルークス CD 党党首との政党連合が整理しない場合は、PAIS 党単独で出馬すると発言。

(2) 国会

7 月 1 日の国会最終会期となる第五会期の閉会に際し、アダメス国会議長は PRD 党が推薦するバルガス候補への指示を表明。アブレゴ CD 党副党首は、自身の夫であり国会事務局長を務めるキビアン・パナイ PRD 党員のパナマ市長選への出馬を確約することを条件に同候補を支持。

2 外交

（１）移民問題

ア ２日、治安省は、国境における移民のダリエン地区通過をほう助する犯罪組織対策のためのオペレーション開始を決定。ピノ治安大臣は、犯罪組織にとっては麻薬よりも移民相手の商売がより利益率が高いと指摘。

イ ７日の報道によれば、保護者不在の不法移民の児童 250 名がパナマ当局により保護された。うち 130 名は 11 歳以下。

ウ 10 日に報じられたゴサイネ移民局長に対するインタビューによれば、ダリエン地区を通過する移民の保護にかかった経費は、食糧手配、移民保護を担当する職員の給与、水道代、光熱費、ごみ処理、交通機関運用費、薬品購入等を合計し約 6,500 万ドル。

エ ドイツ企業 Wandermut 社は、2023 年 12 月～2024 年 2 月のうち 10 日間でダリエン地区横断を目的とする定員 13 名のグループツアー参加者を 1 名あたり約 4 千ドルで募集。レブラン国民保護庁長官は同ツアー開催を非難。

オ 国家移民局は、1 月～6 月の間に不法移民 19 万 2,261 名がダリエン地区を通過した旨発表。2022 年の同時期の通過者数の合計は 4 万 9,452 名であり、289%増。

（２）二国間外交

ア 4～9 日、Annalena Baerbock ドイツ外相がラ米（ブラジル、コロンビア、パナマ）外遊に際し、9 日にパナマを訪問。独外相は、パナマを戦略的パートナーであると発言。

イ リチャードソン米国南方軍司令官がパナマに 4 度目の訪問。パナマと中国の関係につきインタビューを受け、中国が相手国を尊重しない形で投資をすることを懸念している旨発言。

ウ 27 日、パナマ環境省は、セロ・パタコン埋立地の視察のため韓国代表団がパナマを訪問、韓国の 40 年間の廃棄物処理を経た経験を共有した旨発表。

エ ウクライナとパナマは二国間貿易開始のための交渉を開始。29 日に開催された 2023 年第一回ウクライナ・パナマ企業フォーラムにおいて Nicolas Vukelja Duque パナマ・ウクライナ商工会会頭は、本フォーラムは両国の国益と二国間関係強化のための第一歩であると発言。

（３）マルチ外交

ア ２日、オテロ外務次官は ECLAC 会合出席のためチリを訪問。

イ 13～16 日、SICA 防災機関（CEPRENAC）による第 3 回地域内災害対策シュミレーションをパナマで開催。米州、欧州、アジア（含日本）から専門家が来訪。

ウ ベルガラ・パナマ商工会会頭は 2025 年大阪万博におけるパナマ製品の輸出促進に向けた準備会合のため訪日。（了）